

京都市 緑のボランティアセンター ニュースレター



令和7(2025)年 3月号

京都市緑のボランティアセンターより、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、市内各所の活動実例や緑に関する情報を御紹介します。

御池通「和の花花壇」の活動紹介

柳池学区の和の花花壇（柳馬場通－富小路通 間）



▲花壇周囲の落ち葉を掃除(2024/12)



▲株分けしたオミナエシの移植(2025/3)

龍池学区の和の花花壇（新町通－衣棚通 間）



▲ヒオウギの枯れ葉等をカット(2024/12)



▲オミナエシの株分け(2025/3)

城巽学区の和の花花壇（小川通－西洞院通 間）



▲花壇につもった落ち葉を掃除(2024/12)



▲オミナエシを掘上げて土壌改良(2025/3)

「和の花花壇」では、ボランティア団体による日常管理のほか、令和6年度は12月と3月に清掃や株分けの共同作業を行いました。今回は共同作業の様子を御紹介します。

12月は、新年をきれいな花壇で迎えるために、花壇内外の落ち葉を掃除し、冬枯れした葉をカットしました。地上部を枯らして越冬する草花には、来春に地際から芽が出るものと、枯れずに残った茎から芽が出るものがあり、誤って芽を切り落とさないように気をつけながら作業を行いました。

3月の作業では、オミナエシの補植や株分けを行いました。株分けし、合わせて土壌改良を行ったので、来年の生育に期待ができます。

【和の花花壇とは？】

平成29(2017)年度から、京都市では御池通南側の5ヶ所に花壇を設置し、沿道にお住まいの方々にボランティア団体を結成していただき、お世話をしてもらうモデル事業を行っています。

花壇には、京都らしさをテーマに、従来から京都で親しまれてきた植物や和のイメージをもつ植物を中心に使用しており、「和の花花壇」と呼んでいます。

オミナエシ(女郎花 スイカズラ科) 秋の七草の1つで8月～10月頃にかけて粟粒ほどの黄色の花がかたまって咲きます。山野の日当たりのよい湿性地、農地の畔などに生えます。盆花の代表格であり、京都では右京区嵯峨越畑地区で生産されています。



▲和の花花壇の場所 1・2…城巽学区の和の花花壇(2基)、3…龍池学区の和の花花壇、4…初音学区の和の花花壇、5…柳池学区の和の花花壇

公園愛護協力会の活動紹介 ―― 伏見区 南部公園愛護協力会



▲取材当日、活動に参加された方々(上段左から太田さん、晴佐久会長、西向さん、下段左から山本さん、松本さん、菱田さん)

平成27(2015)年に結成された南部公園愛護協力会は、第2土曜日と第4日曜日の9時～10時に活動されています。毎回5～8名の参加者があり、清掃活動のほか、花壇づくりや清掃で集めた落ち葉を利用した堆肥づくりなども行っています。現在の晴佐久浩司(はれさく こうじ)会長は3代目で、「もともと初代の会長が当時、公園の利用者が少ないことをさみしく思って結成したと聞いています。私は2代目の会長とともに愛護協力会とは別のボランティア活動を行っていましたが、5年前に会長引継ぎの依頼を受けました」とこれまでの経緯を話されました。



▲親子連れなどでにぎわう南部公園。再整備前はこれほど多く遊びに来ている光景はほとんど見られませんでした(晴佐久会長)。

南部公園は昭和17(1942)年に設置された、伏見区内でもっとも古い街区公園です。昭和12年の皇太子(現在の天皇さま)誕生を記念して行われた市の児童公園整備事業により整備された公園の一つです。

設置から年月が経ち、園内設備の老朽化や公園樹の大木化による落枝の危険が生じたため、令和3年度に再整備が行われて風景が一新し、明るくきれいな公園へと生まれ変わりました。



▲落ち葉や枯草、舗装路に広がった砂を掃き取ります

メンバーの皆さんになぜ活動に参加されたのかをお尋ねしました。会長の人柄も魅力的なようです(敬称略)。

山本 草花栽培に興味があり、公園の再整備が行われたことで、愛護協力会の活動を通した花壇づくりができると考えて参加しました。

松本 会長が活動しているほかのボランティア団体を知ったことを機に、愛護協力会の活動に参加するようになりました。

西向(にしむき) 会長と知り合ったことをきっかけに参加して、伏見区住民の皆さまとの交流を楽しみに活動しています。

太田* コロナ禍で子どもの遊び場が少なくなったことに危機感を覚え、公園愛護協力会の活動に参加しながら、公園での遊び方の提案、イベント運営に取り組んでいます。

(※龍谷大学政策学部“Ryu-SEI GAP parker's”代表)

現在は、公園利用者の増加や公園を中心とした活気あふれる地域づくりを目指し、月に2回の清掃活動に加えて、年数回イベントを開催しています。令和4(2022)年から“Ryu-SEI GAP[※] parker's(リュウセイギャップ パーカーズ)”と連携し、主に清掃後の時間で「夏祭りイベント」「ハロウィンイベント」など実施してきました。

※Ryu-SEI GAP(龍谷(Ryukoku)大学政策(Seisaku)学部 Glocal Action Program)

龍谷大学政策学部と京都市伏見いきいき市民活動センターとの連携により、大学生が主体になって計画・実行する地域の課題解決プログラム。南部公園を拠点に活動する“parker's”のほかにも、複数のチームに分かれて活動している。



▲育成中の芝生地での作業。冬枯れした葉を刈り取っていきます。



今後の活動について、「新たな取組を始めようとすると、コストのかかるアイデアが出てしまいがちになりますが、それらの実現には時間がかかってしまいます。そこで、公園を使ってやりたいことがある人に集まってもらい、できることから始めてみることを意識しています。居心地のよい公園になるように芝生地をつくったり季節ごとに花を植えたりして、地域の方々のコミュニケーションの場になればよいと考えています」と話されています。



▲公園の一角にある花壇 2024年夏の様子。生育期には草花でいっぱいになります(山本氏 提供)。

南部公園愛護協力会では下記ウェブサイトでの情報発信もされています

1. 公式ウェブサイト「公園であそぼ」
<https://nanbukouen.jimdosite.com/>
2. 公式ブログ「南部公園活動日記」(主に花壇づくりを紹介)
<https://ameblo.jp/nanbu-koen/>



1.公園であそぼ



2.南部公園活動日記

公園愛護協力会に参加しませんか

公園愛護協力会は、京都市内の公園で除草・清掃その他の公園の美化活動等を行うボランティア団体です。現在、京都市内にある約950箇所の公園のうち、およそ7割の公園で結成されています。

公園愛護協力会が結成されている公園では、同会への加入をお願いしております。公園愛護協力会が結成されていない公園では、京都市へ認定の申請をいただくことにより、結成が可能です。

詳しくは、土木みどり事務所へお尋ねください。

活動内容

1. 公園の清掃(月1回以上)、除草(年1回以上)
2. 公園設備・樹木の損傷等、異常の発見・報告
3. 公園の利用マナー向上につながる活動(公園の美化啓発等)

京都市からのサポート

1. 公園清掃等に必要な物品(竹ぼうき、熊手、ちり取り、ごみ袋)の支給
2. 公園清掃等により発生したごみ袋の回収・処分
3. 報償金の支払い

※活動はできる範囲で行っていただければ結構です。

Q&A よくある質問をHPで公開しています

- ・公園愛護協力会とは？活動内容は？
- ・清掃・除草の程度
- ・遊具や樹木の異常の点検の程度
- ・清掃・除草で集めたごみの分別は必要か？
- ・子どもでも公園愛護協力会の会員になれるか？ 等

詳しくは二次元コードから、公園愛護協力会のHPを御確認ください。



または
「京都市 公園愛護協力会」
で検索してください。

過去の「京都市緑のボランティアセンターニュースレター」は、インターネットでご覧いただけます

京都市緑のボランティアセンター

検索



春のコラム いろんなサクラの紹介

日本のサクラには、約10種の野生種(野生種同士の自然交配種を除く)と多数の栽培品種があり、合わせて300種類以上あるとされます。栽培品種を見分けるのは難しく、花色や花びらの形・数だけでなく、雌しべの本数や形、がくの形、葉の形や毛の有無など花を細かく観察しなければなりません。

サクラの品種名は、総称や銘木の名前(固有名詞)とまぎらわしいことがあります。例えば、八重の花が咲くサクラをまとめて「八重桜(やえざくら)」と呼ぶことがありますが「ヤエザクラ」という名の野生種や栽培品種はありません。また、「ウスズミザクラ」と呼ばれる桜には、①「ウスズミ(薄墨)」というサトザクラの品種のほかに、②岐阜県根尾村の銘木、「根尾谷の淡墨桜(うすずみざくら)」があり、②は野生種の一つ、エドヒガンです。

サクラの分類イメージをまとめましたので、この春、サクラを見る時の参考にしてみてください。



★★ソメイヨシノ(染井吉野)最も広く栽培され、エドヒガンとオオシマザクラの交配種とされます。新芽が出る前に開花します。



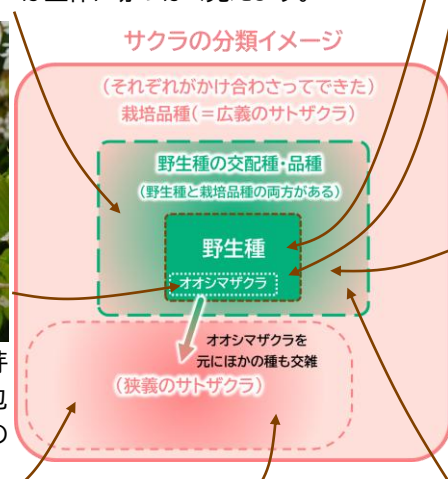
★ヤマザクラ(山桜)山野に生えます。花と同時に赤色の新芽が出るため、開花期には全体に赤っぽく見えます。



★カンヒザクラ(寒緋桜)濃紅色の花は、平らには開かず、枝を揺らすと落ちるほど大量の蜜をもちます。南西諸島に自生。



★オオシマザクラ(大島桜)花と同時に新芽が開きます。塩漬けにした葉で桜餅を包むことで知られます。サトザクラ(狭義)の元になったと考えられています。



★▼サノザクラ(佐野桜)ヤマザクラの栽培品種です。ヤマザクラと同じく、開花と同時に新芽が開きますが、花は八重咲きになります。



●カンザン(関山)サトザクラの中でもよく植えられる品種です。桜湯に入れる花の塩漬けには本種を使います。



●ギョイコウ(御衣黄)サトザクラの一種で、サクラの中で珍しく黄〜緑色の花を咲かせます。



★▼ヤエベニシダレ(八重紅枝垂)野生種の一つ、エドヒガンの栽培品種で、枝が垂れ下がり、淡紅色の八重の花が咲きます。

(凡例) ★…野生種、★★…異なる野生種同士の交配種、★▼…野生種からできた栽培品種、●…その他の栽培品種

【p.4 春のコラム 参考文献】

- 勝木俊雄(2001)『フィールドベスト図鑑10 日本の桜』, 学習研究社
- 大原隆明(2009)『サクラハンドブック』, 文一総合出版
- 木原浩、大場秀章ほか(2007)『新日本の桜』, 山と溪谷社

編集後記 2024年度も熱心に取り組まれている緑のボランティア団体を御紹介し、主に皆様の活動の動機に焦点を当てました。緑に関わる活動をしていると、植物の四季の移ろいを感じられると共に自然と周囲の人から声をかけられることもあり、人とのつながりを感じられるのも楽しみの一つです。

お気軽に
ご相談
ください

京都市緑のボランティアセンター

電話:075-352-2535(梅小路公園内専用回線)

場所:梅小路公園緑の館2階ロビー(京都市下京区観喜寺町56-3)

時間:午前9時〜午後5時まで 月曜日を除く毎日(年末年始12月28日〜1月4日休み)